

みんなで考えよう

にぎわい再生の プロジェクト

中心市街地の活性化は全国多くの都市で問題となっています。本市では、平成十二年三月、中心市街地活性化基本計画を策定しましたが、空洞化に歯止めがかかっていません。こうした中で、昨年、にぎわい課を新設し、まちづくりにぎわい再生計画プロジェクトチームを組織。計画策定を進めています。ここでは、こうした取り組みを紹介。今後とも皆さんと考えながら、にぎわい再生に向け取り組んでいきます。

問い合わせはにぎわい課 210-2188へ。

空洞化が全国で課題に

本市では、中心市街地の活性化を推進しています。現在、地方都市の中心市街地は、活性化が全国的な課題。六百五十もの市町村で中心市街地活性化基本計画を策定し、活性化を推進しています。本市でも、平成十二年三月に中心市街地活性化基本計画を策定しましたが、空洞化に歯止めがかからず、昨年、大



型店も撤退しました。

このような中で、昨年四月に

昨年4月「にぎわい課」新設

昨年四月に中心市街地の活性化策を推進するため、銀座通りと中央通りの交差点にあった空き店舗を活用し、にぎわい課を新設しました。六月からは、市民の利便性向上と中心市街地の活性化のため、証明サービスコーナーも併設。年末年始以外は土日曜、祝日も毎日午前十時から午後七時まで住民票の写しな

市の組織として、にぎわい課を新設。さらに、十一月には各分野の専門家二十人による「まちづくりのにぎわい再生計画プロジェクトチーム」も組織し、計画策定を進めているところです。

ど、証明書類の発行をしています。

にぎわい課には、中心市街地の活性化へ向けた提言・アイデアが多く寄せられています。また、にぎわい復活アイデアを募集したり、市若手職員が活動するプロジェクト8から八番街のアイデアを受けたりしています。さらに、にぎわい復活ワークシ

中心市街地活性化のため

にぎわい課を新設したこと開始まる中心市街地活性化策が、これまでさまざまに実施されています。

新たな融資制度の創設。昨年七月から市営駐車場料金の値下げ。また、二月から中心市街地への進入を増やすため、千代田通りが交互通行になりました。さらに、群馬大医学部の附属病院ボランティア医師の協力で、まちなか健康相談を実施。県が

ヨツプを開催。多くの市民のかかわりの中でまちづくりを検討中です。

昨年十一月には、まちづくり、

商工業振興、医療・福祉などの専門家による「まちづくりにぎわい再生計画プロジェクトチーム」を発足させました。

設置した「ウェルカムトウぐんま推進委員会」や「観光マネージャー」への参画なども行っています。

ほかにも、各商店街による通りの特色を生かした催しも行われるようになりました。「弁天ワッセ」毎月三日に開催する弁天通りの縁日」や中央通りのサマーフェスティバル（ゆかたまつり）が新たにスタートしています。